

生活創造しんぶん Wa'Wa'Wa'

編集・発行
姫路生活科学センター内 生活創造応援隊

姫路生活科学センターの登録グループ紹介

中播磨地域で元気に活動しているグループを順に紹介します。「いっしょに活動してみたいな」「活動内容をもう少し詳しく聞きたい」などの方は当センターにご連絡下さい。(問い合わせ先P.8)

西中島地区で障害者の自立支援に取り組む「おばあちゃんの家」

「おばあちゃんの家」(代表・窪田潤子さん)は、平成10年3月に精神障害者自立支援センターとして発足しました。障害者の「職業訓練・健康増進」に取り組んでいます。健康増進では、昨年から“腹式呼吸”による「レクレーション吹き矢」を取り入れています。自立支援訓練の一環として障害者が、インストラクターの実演補助や補佐役などの実演スタッフを構成し、活動しています。

高齢者の健康増進の“一助”を目指して、姫路市野里のディケアサービスステーションで訪問指導するほか、一般の方にも、姫路市勤労市民会館や公民館花北支所で「吹き矢教室」を開催しています。



フェスタで人気を集めた「吹き矢教室」

従来からの支援作業には、障子紙(和紙)を染めて、イベント用のうちわ、菓子箱、化粧箱などをデザインから制作までをやりこなす「物作り集団」としても活躍しています。

また、昨年末から地域の田畑を借り受け、オーガニックライフの原点でもある「堆肥づくり」を実験的に取り組んでいます。

このように障害者が自らの力で、高齢者の健康増進や体力づくりを目指して、幅広い分野で活動しています。

「おばあちゃんの家」は「自らの手で、自らの未来を切り開きながら地域振興に寄与する」を理念として、日々努力を重ねている自立支援センターです。

先日、「柚子の加工で村おこし」で注目を浴びている高知県馬路村に見学研修会に出向いたとき、担当者から「世間に認知していただくまでに18年間の試行錯誤がありました。今も、製品開発に日々努力…」と苦労話を聞きました。

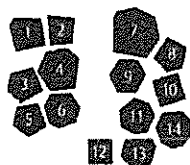
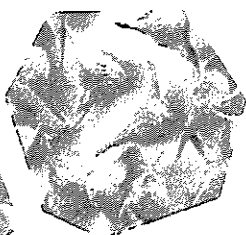
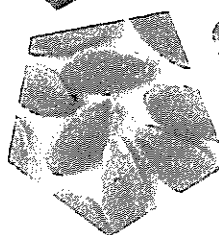
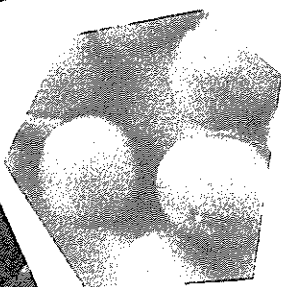
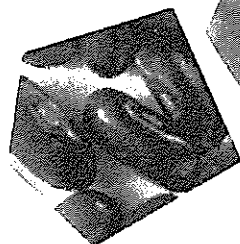
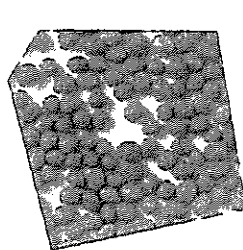
何事も一朝一夕にはできませんが、「おばあちゃんの家」の活動が一步一步着実に進むことを期待し、また、私自身もグループの一員として頑張っていきたいと思っています。

(生活創造応援隊・遠入 宏昭)

～ も く じ ～

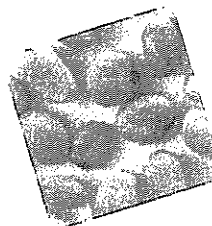
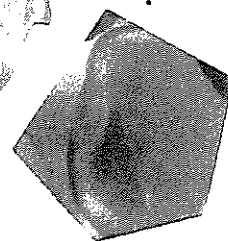
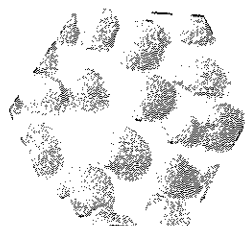
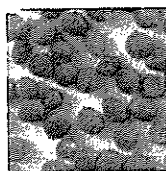
- | | |
|---|--------------------------|
| ◆登録グループ「ひょうごの在来種保存会」……………P2 | ◆「かんたん料理」、「グループの活動報告」…P5 |
| ◆地域活動情報「フォークロアン講座に参加して」…P3 | ◆地域情報「鬼追い祭り」「自然観察の森」…P6 |
| ◆グループ活動紹介「入院患者と障がい者に笑顔
とコンサートを贈る市民の会」……………P4 | ◆登録グループのイベント・行事案内……………P7 |
| | ◆センターからのお知らせ……………P8 |

登録グループ紹介



- | | |
|----------|------------|
| 1. 水菜 | 8. ソラマメ |
| 2. えんどう | 9. 茄子 |
| 3. いんげん | 10. 大根 |
| 4. えだまめ | 11. かぼちゃ |
| 5. 瓜 | 12. ブロッコリー |
| 6. ほうれん草 | 13. ししとう |
| 7. 冬瓜 | 14. 玉ねぎ |

ひょうごの在来種保存会



何の種
でしょう？

「ひょうごの在来種保存会」(代表 山根 成人)

「在来種保存会」では、消えていきつつある県の在来種の野菜・穀物を保存することを目的とした活動を行っています。こゝで意味する「保存」とは、種を単に冷蔵・冷凍保存することではなく、毎年栽培し、種を採り続けることにより守っていくことです。具体的には、種そのものも大切ですが、種を採り続けている人、すなわち「種採り人」を発掘することも当会の大事な目的であり仕事だと考えております。伝統的に良く知られている作物はもちろん、地域や家族で受け継がれてきた名もない作物を見つけて出し、名前をつけたり、食べ比べたり、楽しみながら作り続けられる様なシステムなどの提案をしています。

それに、販売が目的ではない、名も無い野菜たちは、「うもうて種採りやめられへん」がホンネなのです！

採種技術や調理法なども含めて情報を整理し、年二回ほど発行する通信で会員に発信しています。現在、会員数は約六百人。農業を生業としている農業者や、家庭菜園など家族で食べる分だけ栽培している人、学識者や消費者、料理人といった応援してくれる人たちなどさまざまな人に支えられ、今年七年目を迎えることができました。

私たちのグループは、種にまつわる耳寄りな情報を集めておりますので、興味のある方は、左記までご連絡ください。

【ひょうごの在来種保存会】

〒

FAX..

E-mail..

地域活動報告

再び開催！旅の学校「フォークロア講座」第1回は大盛況！

民俗学者柳田國男、民話の魅力に魅せられた人々が集いました。

1月9日の第1回講座第1部は語り部の競演。

残念ながらこの部は出席できず、午後の「民話の魅力に触れる」《パネルディスカッション》に駆けつけると、会場は舞台も整い、遠くは京都、大阪、丹後からの参加者で埋まっていました。

コーディネーターは神戸夙川学院大学教授で、ひょうごツーリズムビジョンフォローアップ委員会委員長の戸祭達郎氏、パネラーは岩手県遠野市の正部家ミヤさん。この方は350～360編の地元の民話を語られ、昔話の保存と継承に力を入れながら全国を巡り、昔話の紹介に努められています。遠野市の文化課長の小笠原晋氏。丹後からは京都府の与謝野町生まれの青木順一さん。この方は北京都丹後ふるさと検定に合格され、丹後観光口コミ大使として町の魅力を観光客に伝えておられます。

丹後広域観光キャンペーン協議会事務局次長の東哲さんも年間観光客 800 万人を目標にして色々な企画を立案し励んでおられます。

福崎町からは嶋田正義町長と「福崎民話かたりべ研究会」代表の鎌谷泉さんが参加されました。

各パネラーのトークや参加者の様子から欠席した午前中の「語り部の競演」が非常にすばらしかったことを感じました。

遠野市では学校教育のプログラムに民話が組み込まれているとのこと。子供達は民話を聞く事により聞く力がつき、やがて話す力がついてくるということでした。また、方言を聞き、土地の歴史を知り、昔の生活に思いを馳せることで現在の生活により理解を深めることができるといいます。

旅人も景色を見るだけでなく、地域特産を食し、地の人と触れ合うことで思い出は深くなりもう一度訪ねたくなるのです。「何回も訪れてほしい！」の思いをもって「みんなで手をたずさえて、力合わせて協働の町づくり」に力を注いでおられます。福崎も大いに学ばねばならない姿勢だと感じました。しかし、どんなにすばらしいことでも1人ではなかなか進みません。多くの人が力を合わせる事が大切です。

各パネラーはご自身の活動の現状と未来への展望を熱く話されました。地元で活動しておられる鎌谷さんからは「私達を教育の現場で使ってほしい」と活動の場を望んでおられました。

これらの提言を受けて、嶋田町長が感想を述べられました。昔、柳田國男先生が幼いときに聞かれた民話を今の子供達に伝える方法を真剣に考えるとともに、全国のあちこちからは「福崎は柳田國男のふるさと」と羨望の思いで見られているが、福崎町民がこのことにもっと思いを馳せ、ほこりに思い、子供達が成人後、例え、町外へ出たとしてもこの故郷・福崎に誇りを持てるようにしたいとその熱意を語られました。

目の前に問題が山積する町政も大切ですが、将来の福崎を委ねる子供達の未来も大事です。

子供たちが豊かな心、故郷を大切に思う心を育んでくれなければよい福崎町となりません。

私達大人が真剣に未来を考えている様子が子供達に自然に伝わるようにすること、心豊かな生き方で一生懸命の姿を見せられたらいいなと思いながら参加させていただきました。



シンポジウムの講師やパネラーの方々と

一朝一夕には出来ませんが、この方向を目指して励んで下さっている方々を身近に感じられたのは幸せでした。何程のことでもないかも知れませんが、できる事をできる時にしたいと思います。

民話は人づくりの源でもあるという新しい発見も感じました。以後の講座が楽しみです。ありがとうございました。

(応援隊 小國 冷子)

地域全体で取り組む

グループ活動紹介

安心で快適な医療環境づくりのために

「医療崩壊」と言われる地域医療の危機について何度か申し上げてきましたが、今回は、「モンスターペイシエント(医療従事者や医療機関に対し自己中心的で理不尽な要求、さらに暴言・暴力を繰り返す患者)」の存在を取り上げたいと思います。

独立行政法人国立病院機構姫路医療センターで経営企画室長、企画課専門職(医事訴訟)と、外科の女性医師の方から忙しい時間を割いてお話を聞かせていただきました。

その内容は、日本刀を病室に隠していたり、診療方針にまったく従わない度が過ぎたわがままや、小額の金銭ですが脅し取ろうとしたり、料金を支払わないといった事例等を聞いて、「まさか！本当に？」「これは犯罪ではないのか！」という驚きの連続でした。

病院職員に対して電話で一方向的に怒鳴り続けている録音を聞かせていただいた時には、播州弁が憎くも思えました。

ほとんどの患者は善良で、その提案も「医療機関がもっとよくなってくれたら」という思いからの善良なものです。残念なことにほんの一部の患者の問題行動が病院現場に深刻な影響を与えていることも、事実だということが分かりました。

以前に、病院(医療センターではありません)を辞めて診療所の看護師になられた方の話で「姫路は暴力団が多くて、怒鳴られると皆暴力団に見えてしまう」という経験談を聞いたことがあり、姫路地域独特の問題があることも実感しました。

こうした問題以前に、私たち患者側がより良い治療を受けるために、医療側とのより良い関係づくり、より良いコミュニケーションが必要です。しかし、医療は昔に比べて非常に高度化し、医療自体の作業量が多くなっただけでなく、書類の作成など、たくさんの周辺業務をしなければならなくなっています。結果として、患者側とのコミュニケーションをとる時間が十分でないことと、患者側の権利意識が強くなっていることで、患者側と医療側のコミュニケーション不足と擦れ違いが起こっていることが考えられます。

医療機関では、ふだんから患者側との良好なコミュニケーションをとることができるような工夫と、患者側からの“意見、コメント、クレーム”を受ける場所や部署を明確にして患者側の声に迅速に対応するシステムがとられています。医療従事者を守るという目的もありますが、患者が安心して医療を受けられる環境をつくることを目的に進めているのです。しかし、患者側の問題行動は減少していません。

様々な理由がありますが、研究者によると、医療側の問題が報告されにくいことも上げられています。

病院という組織は、現場に多くの権限が委譲されており、現場で問題解決しようとして、被害情報が個人や部署に留まって、組織的な取り組みが遅れる傾向にあるということです。

専門家によると「こんなふうになると防げたのにね」という根拠のない対応が二次被害を広げている。「特定の個人を狙う悪質な暴力の場合、加害者は無抵抗で、怯えがちで、力で支配されやすい人を狙います。そのため、被害者にまったく責任はありません」と述べています。



また「むしろ、数では示せない暴力被害の方が深刻な問題です」とも述べています。

私は患者の問題行動の背景に社会的な要因が強く関係していることもあり、病院現場だけではなく地域全体の問題として取り組む必要を感じました。

地域医療の危機に対しては、医療側と住民と行政がスクラムを組んで取り組まないと解決しません。

暴力や暴言や迷惑行為が医療現場に悪影響を及ぼしている以上、それを許さない運動を、住民側からも積極的に取り組む必要があるのではないかと今は強く感じています。医療側と患者側の良好な関係こそが患者側の大きな利益となります。

様々な取り組みが考えられますが、先ず、地域住民が「暴力・暴言・迷惑行為を許さない文化」を地域に根付かせる取り組みが必要ではないかと思っています。

「患者中心の医療サービス」を受けるためには、「ありがとう」という感謝の言葉と、「暴力・暴言・迷惑行為を一切許さない！」毅然とした地域全体での取り組みが必要だと考え、当会では5万枚のチラシを配布し啓発する計画をしています。また、感情的な行き違いの問題が背景にある場合も数多くあると考えられます。そういう対応には愛知県で取り組んでいるような「医療に関する苦情センター」を姫路地域にも行政の支援で設立する必要も感じました。

文責：「入院患者と障がい者に笑顔とコンサートを贈る市民の会」代表 小嶋 隆義

正月料理用の残った豆を利用されてはどうですか…

かんたんお料理

地産地消の食材を活かす会
(応援隊・大野・遠周・堀越)

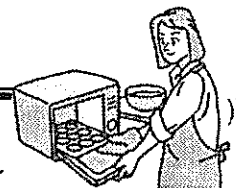
黒豆ケーキ

材料

- * 薄力粉 120g
- * ベーキングパウダー 小さじ 1/2 杯
- * 卵 2 個
- * 砂糖 60g
- * サラダ油 60g
- * 黒豆(煮豆) 150g
- * アルミホイルケース 12 個

作り方

- 1 薄力粉とベーキングパウダーを振るいにかけておく。
- 2 ボールに卵と砂糖を泡立てて、1 の粉とサラダ油を入れて混ぜる。
- 3 2に黒豆を入れたあと、アルミホイルケースに入れる。
- 4 予熱したオーブンで10～12分焼く。(160～170度)



豆腐のふわふわ焼き

材料

- * 木綿豆腐 1 丁(400g)
 - * 山芋入りお好み焼き粉 大さじ 3 杯
 - * 卵 1 個
 - * 太ねぎ 2 本
 - * 干しえび 少々
- (シーフードを入れても良い)

作り方

- 1 ネギは斜め切りにする。
 - 2 材料をよく混ぜ合わせ。
 - 3 厚みのあるフライパンに油を敷き、蓋をして中火で両面を焼く。
- * 必ず、木綿豆腐をお使いください。絹豆腐ではうまくできません!



登録グループ「中播磨花と緑を楽しむ会」からの報告

正月花の寄せ植え (2009. 12. 16 実施)

年末も押し迫った 16 日に姫路市緑化協会の大西公子氏を講師に 25 人の会員がお正月花の寄せ植えを楽しみました。

用土ベラボンを鉢に入れて、黄色の小さな花を沢山つけたラン科のオンシジウムを植え、次に冬の花の女王シクラメン、エリカ、正月花に欠かせない葉ボタンでインパクトをつけて、ニュージーランド原産のワイヤープランツをあしらいに。講師のアドバイスを受けながら手さばきよく、約 1 時間でそれぞれ立派な作品ができました。

後は、花の土や肥料の施し方、水のやり方、シクラメンの根の始末方法、オンシジウムの育て方など、細かく丁寧な説明を受け、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

大西講師はハンギングも得意とのこと、また指導を受ける機会を作りたいと思います。

私たちのグループは、このように実習や見学会などでいろんな季節の花や緑を楽しんでいます。関心ある方はぜひご連絡ください。

(お問合せは姫路生活科学センター情報プラザまで)



(中播磨花と緑を楽しむ会 小林 美波子)

地域情報

鬼追い祭り 書写山

書写山の摩尼殿では、例年1月18日午後1時から修正会(鬼追い会)が行われています。

参拝者に鬼の箸が配られたことを合図に、不動明王の化身である青鬼と、毘沙門天の化身である赤鬼が、邪鬼払いの鬼の舞を舞います。

大勢の参拝者の熱気のなか、千年以上続く鬼の舞は力強く厳かで、赤鬼の持つ鈴の音に心が洗われます。姫路市の無形文化財に指定されている行事で、地元の曾左小学校は午前中に授業を終え、多くの児童が書写山に登ります。

子どもたちが笑顔で山に登る姿を見ると、伝統がこれからも受け継がれて行くことを実感できました。まだご覧になられてない方、来年の話になりますが、一度いらしてみませんか。一見の価値あります。(書写山公式HP)



(応援隊 勝又千明)

姫路市自然観察の森

姫路市自然観察の森(姫路市太市)は桜山貯水池に面した広大な雑木林の中に、全長約8kmの散策路が自然のままで整備されていて、昆虫、野鳥それに色々な植物の観察が楽しめ、森林浴にも最適の場所です。3月中旬から下旬には山桜が咲き、可憐なすみれなど草花も芽を吹き始めて早春を楽しませてくれます。

周辺には星の子館、姫路科学館(アトムの館)、県立こどもの館などがあり、子供はもとより大人も何度行っても遊ぶには困らない場所にあります。

まずは ネイチャーセンターへお立ち寄りください！

ここでイラストマップがもらえます



「自然観察の森」中心施設のネイチャーセンター

3月の イベント案内

■3月20日「ガイドウォーク」

ゆんレンジャーと～森に春を探しに行こう～

* 申込み不要 当日受付

■3月21日 おやこ de 自然とあそぼう！

～早春の森を楽しもう～ * 要申込み

* お申込みは最下段のお問合わせ先にご連絡を!

今回は「自然観察の森」の井内レンジャーさんを訪問して、お話と春のイベントについてお聞きしました。

お問合わせ先

〒671-2233 兵庫県姫路市太市中 915-6 姫路市自然観察の森(月曜休館)

(応援隊 上山 和子)

生活科学センターからのお知らせ

平成22年度 生活創造応援隊員 募集!

地域活動・グループ活動に関心ある方、歓迎!!

「生活創造情報プラザ」では中播磨の各地で活動されているグループや各地のイベントなどの情報を収集し、「生活創造しんぶんWa'Wa'Wa'」で情報発信しています。この情報紙の記事の作成などに携わり、生活創造活動の支援をしていただく「生活創造応援隊員」を募集します。

いきいきとした中播磨の情報を発信していきませんか!

《主な活動内容》

- ☆ 地域情報の収集、「生活創造しんぶんWa'Wa'Wa'」の作成、発行、配布
 - ☆ 「生活創造フェスタ」等、生活創造プラザ事業の運営に関する補助 など
- お問い合わせ先 [] (井上)

登録グループの出前講座「呼んでネット」のご案内!!

あなたのグループに他グループの方を講師に呼んで学習・交流しませんか。



「紙芝居」グループゆめゆめ

「昔の料理」地産地消の食材を活かす会

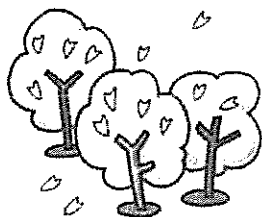
「折り紙」福岡町消費生活研究会

その他、環境問題、衣類のリフォーム、子どものアレルギーなどの食生活問題、子どもの健全育成、ボランティア活動、コーラスなどの音楽、版画、パソコン指導など、様々な分野で活動する18グループが講師登録しています。利用を希望される団体は生活科学センターまでご連絡ください。

お問い合わせ先 [] (井上、秋末)

☆ センターの相談窓口をご利用いただける時間 ☆

利用時間	消費生活相談	[]	9:00~12:00 13:00~16:30
休館日	土曜・日曜・祝祭日・年末年始		



*** 中播磨地域で頑張っているグループや頑張っている人のお話をお寄せください。**

「生活創造しんぶん」の紙面でご紹介します。自薦他薦は問いません。

4月9日(金)までに原稿を郵便FAX・Eメールでご提供ください。

※ 読まれた感想もよろしくお願ひします。

生活創造しんぶんWa'Wa'Wa'とは...

しんぶんを通して、人の輪 Wa・平和の和 Wa・円 Wa・話 Wa・環 Wa・縁 Wa...限りない Waに出会いましょう。新たな Waを学び、Waを結んで、ステキな Waを伝えていきます。(生活創造応援隊 一同)

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ先
姫路市新在家本町1丁目1番22号
兵庫県姫路生活科学センター

生活創造活動コーディネーター 秋末